



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 日東化工株式会社

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 荒川 良平

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 小平 英希

TEL 0467-74-3111

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,655	△3.5	△96	—	△103	—	△114	—
26年3月期第3四半期	7,930	8.7	15	△67.4	8	△77.3	1	△96.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△2.99	—
26年3月期第3四半期	0.03	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第3四半期	7,716		2,152		27.9	56.07
26年3月期	7,654		2,259		29.5	58.87

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 2,152百万円 26年3月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	△6.2	△80	—	△95	—	△100	—	△2.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	38,400,000 株	26年3月期	38,400,000 株
27年3月期3Q	18,416 株	26年3月期	17,349 株
27年3月期3Q	38,382,086 株	26年3月期3Q	38,383,053 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済政策および金融緩和政策等の効果が発現するなかで、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からの回復が期待されておりましたが、未だ景気回復の実感を得るまでには至っておらず、また、海外景気減速の警戒感等もあり、依然として先行きの不透明な状況が継続しております。

このような環境下、売上高につきましては、ゴムコンパウンドの受注は堅調に推移したものの、高機能樹脂コンパウンドの受注が落ち込み、前年同期比減収となりました。利益面につきましても、売上高の減少や、それに伴う設備稼働率の低下等の影響により、大幅な減益となりました。

その結果、当期の業績は売上高7,655百万円（前年同期比3.5%減）、営業損失96百万円（前年同期は15百万円の営業利益）経常損失103百万円（前年同期は8百万円の経常利益）、四半期純損失114百万円（前年同期は1百万円の四半期純利益）となりました。

（セグメント別の状況）

（ゴム事業）

ゴム事業全体の売上高は、ゴムコンパウンドが増収となったことにより、前年同期を124百万円上回る5,378百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

<ゴムコンパウンド>

消費税増税前の駆け込み需要の反動減があるものの、昨年の第2四半期以降、自動車関係を中心に受注が堅調に推移したことで前年同期を上回る売上高となりました。

<シート・マット>

ゴムシートでは、第1四半期において受注が低調であったものの、その後建築土木関係の受注が好調に推移したことにより、前年同期並みの売上高となりました。また、ゴムマットについても、建築土木関係における粉末マットの受注が好調に推移し、前年同期を上回る売上高となり、シート・マット全体としても前年同期を上回る売上高となりました。

<成形品>

クッションタイヤの受注が好調に推移したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

（樹脂事業）

樹脂事業全体の売上高は、主に高機能樹脂コンパウンドにおいて、受注が減少したことにより前年同期を402百万円下回る2,176百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

<高機能樹脂コンパウンド>

消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響等により自動車関係の受注が減少し、前年同期を下回る売上高となりました。

<リサイクルナイロン等>

ECX及び樹脂洗浄剤の販売は好調に推移したものの、リサイクルナイロンでの受注が低調だったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は7,716百万円となり、前期末に比べ62百万円増加しました。流動資産は、営業債権及び棚卸資産が減少したものの、現預金残高が当四半期末日が休日であったことから、買入債務等の支払が翌月になった影響により増加したため、前期末に比べ37百万円増加しました。また、固定資産につきましては、関連会社であります㈱愛東の清算結了にともない関係会社株式が減少しましたが、設備投資を実施したことにより前期末に比べ24百万円増加しました。

負債は5,564百万円と、前期末に比べ169百万円増加しました。流動負債は主に当四半期末日が休日であったことから買入債務等の支払が翌月になった影響により、前期末に比べ91百万円増加しました。固定負債は、役員退職慰労金の支払いによる減少はあったものの、借入を実施したことにより、前期末に比べ78百万円増加しました。

純資産は2,152百万円と、前期末に比べ107百万円減少しました。これは主に当第3四半期累計期間における四半期純損失によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年10月17日に発表いたしました業績予想の数値から変更しております。詳細につきましては、本日発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131	387
受取手形及び売掛金	2,853	2,679
商品及び製品	491	409
仕掛品	175	151
原材料及び貯蔵品	301	350
その他	107	119
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,060	4,098
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	724	690
機械及び装置(純額)	977	986
土地	1,575	1,575
建設仮勘定	35	103
その他(純額)	102	94
有形固定資産合計	3,415	3,451
無形固定資産		
その他	6	6
無形固定資産合計	6	6
投資その他の資産		
投資有価証券	52	64
関係会社株式	31	16
関係会社出資金	64	64
その他	27	19
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	171	160
固定資産合計	3,593	3,618
資産合計	7,654	7,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919	1,962
短期借入金	1,450	1,450
未払法人税等	6	5
賞与引当金	57	37
その他	1,009	1,078
流動負債合計	4,443	4,534
固定負債		
長期借入金	589	666
退職給付引当金	320	341
役員退職慰労引当金	40	16
繰延税金負債	1	5
固定負債合計	951	1,029
負債合計	5,394	5,564

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	338	223
自己株式	△1	△2
株主資本合計	2,256	2,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	10
評価・換算差額等合計	2	10
純資産合計	2,259	2,152
負債純資産合計	7,654	7,716

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	7,930	7,655
売上原価	7,248	7,136
売上総利益	681	519
販売費及び一般管理費	666	616
営業利益又は営業損失(△)	15	△96
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	4
補助金収入	—	3
その他	6	6
営業外収益合計	10	13
営業外費用		
支払利息	15	18
その他	1	1
営業外費用合計	17	20
経常利益又は経常損失(△)	8	△103
特別損失		
固定資産除却損	2	7
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	2	7
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	5	△111
法人税、住民税及び事業税	4	3
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	4	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△114

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。